

露地プール育苗（無ハウス・プール育苗）

1 技術の特徴

- (1) パイプハウスを利用せず、露地にプールを作製して育苗する方法です。
- (2) は種時期は、育苗期間の平均気温が13℃以上になった頃の4月20日以降とし、育苗日数のめやすは25日です。
- (3) は種後、プール育苗予定地に育苗箱を並べ、被覆資材で覆います。被覆資材は、シルバーポリトウ#80とラプシート、またはシルバーポリトウ#80とミラーシートの2重被覆とします。
- (4) 被覆期間は14～18日間をめやすとし、苗の1葉期頃に除覆します。除覆前の高温により苗ヤケが生じることがあるので注意します。除覆後、プールを水深1～2cmの湛水状態にします。湛水期間は7日以上とし、2葉期に移植します。

2 技術導入の留意点

- (1) 平坦部地域に適します。
- (2) 育苗場所は日当たりが良く、強風の当たらない場所を選ぶとともに、防風網や防風ネットを設置します。また、均平作業やプールの設置、追肥等の作業については、従来のプール育苗と同様です。
- (3) 加温出芽後でも無ハウス・プール育苗が可能です。
- (4) 湛水後、霜注意報発令などの異常低温が予報された場合は、保温のため箱上までの湛水や再被覆を行います。

3 導入が効果的な経営体

ハウス資材の削減や苗の管理などの労力を軽減したい稲作農家



図1 露地プール育苗の様子



図2 緑化時の苗の様子

詳しくは最寄りの農業普及指導センターにお問い合わせください